

英語コース合同ディベート (7/23)



7/23 (火)3限に「英語コース合同 Debate 」が行われました。昨年まで3回行われていた「Persuasion Contest」を今年度から名称を変え、「日本政府は原発を廃止すべきである」という命題に対し、賛成・反対それぞれの立場から、相手とジャッジを説得する簡易ディベートの形式で議論しました。英語コース各学年1名ずつを含む3～4名編成の計21チームが6会場に分かれ、それぞれ両方の立場で1回ずつ英語で議論を交わしました。3年生が事前準備、当日の対戦でリーダーシップをとり、下級生にとって、いいロールモデルとなっていました。英語コース各学年のきずなも強まりました。相手の意見を正しく聞き取り、短い時間で反論を考え、それを英語で発表することがディベートでは求められ、命題そのものを含め、ハードルが高めの活動ではありましたが、事後アンケートでは、「次年度はよりいいパフォーマンスを発揮できるようこれから英語をがんばっていきたい」という英語の学習に対して意欲的な言葉が多く見られ、英語コースの生徒の今後の成長が期待されます。

(文責 英語科)